

茨歯発 第 323 号

令和 6年 1月25日

医療従事者 様

介護従事者 様

茨城県歯科医師会

会長 榊 正 幸

介護保険講習会について

厳冬の候、貴殿益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、本会では、介護保険事業の一環として、標記講習会を下記により開催することとなりましたのでご案内申し上げます。多数の方のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時 令和 6年 3月17日 (日) 10時～12時
2. 場所 茨城県歯科医師会館 3階講堂 **【WEB受講可能】**
水戸市見和 2-292-1 TEL029-252-2561
3. 演題・講師 「 知っておきたい！「口腔機能」の低下と介護現場での対応
～訪問診療で必要なケア・支援のポイント～ 」
公立能登総合病院 歯科口腔外科部長 長谷剛志先生
4. 略歴・抄録 裏面
5. 対象者 医療・介護従事者
6. 定員 会場参加者定員60名、WEB参加者定員なし
※定員内でお入りいただける場合は、とくにご返事は差し上げません。
7. 受講料 無料
8. 申込方法 下記URL又はQRコードからの申込フォームで、3月8日(金)までにお申し込み下さい。こちらでのお申し込みが難しい場合は、本会事務局までお問い合わせ下さい。WEB受講者の方には、受講案内メールを後日お送りします。

URL <https://forms.gle/rTorQjUHX3zwzuzc8>

QRコード



【抄録】

平均寿命の延伸とともに、歯科でも複数の疾患を合併した高齢患者を診療する機会が増えています。生理的老化に加え、動脈硬化、高血圧、高脂血症、糖尿病、骨粗鬆症に代表される老化（加齢）関連疾患が進行し、やがて、脳血管疾患や心疾患、呼吸器関連疾患など様々な病気を発症すると、その治療として多剤併用を余儀なくされ、歯科治療の遂行に影響を及ぼすケースも少なくありません。さらに、認知症を併存することによって多様な行動変容がみられ、十分な歯科医療体制を提供することができなくなる状況も想定されます。したがって、高齢患者の背景疾患や使用薬剤が複雑化するにつれ、われわれ歯科医療従事者は、老年期における患者の心身特性について病態への理解を深め、使用されている薬剤に関する知識の習得と歯科的対応の在り方を考える時代にきています。

一方、病気や薬剤の影響から、高齢者の口腔内には、歯科単独疾患としての「う蝕」や「歯周病」以外に様々な変化が起こると推測されます。補綴完結型の「治す」歯科医療はもとより、今後さらに増える高齢者の器質的口腔変化と摂食嚥下機能を含めた口腔機能の低下にも関心をもち、口腔本来の役割を幅広く「ケア」できる多職種連携のチーム構築が望まれます。特に「食べる力」が低下した在宅療養高齢者のサポートを医療と生活の両視点に立って、治療・ケア計画を立案することが大切であると考えます。

そこで、今回の研修会では、高齢者の摂食嚥下機能と anorexia of aging の問題について医療と生活のはざまに「meals on wheels」をキーワードに皆さんと一緒に学び、臨床の一助になればと願います。

【略歴】

- 所属：** 公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科外科系医学領域 顎顔面口腔外科学分野
非常勤講師
- 学歴・職歴：** 2001年：北海道医療大学 歯学部 卒業
2006年：金沢大学大学院 医学系研究科 修了 医学博士
2009年：公立能登総合病院 歯科口腔外科 医長
2015年：同 部長
- その他役職：**・金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 外科系医学領域顎顔面口腔外科学分野
非常勤講師
・琉球大学大学院医学研究科 顎顔面口腔機能再建学講座 非常勤講師
・「食力の会」代表
・市立輪島病院 歯科口腔外科 非常勤医師
・石川県立田鶴浜高校 衛生看護科 非常勤講師
- 資格：** 日本口腔外科学会 専門医
日本口腔科学会 専門医・指導医
日本老年歯科医学会 専門医・指導医
日本老年歯科医学会 摂食機能療法専門歯科医師
- 受賞歴：** 2001年：デンツプライ賞
2006年：日本口腔腫瘍学会 学会賞
2007年：日本口腔科学会 優秀論文賞
2015年：全国国保地域医療学会 優秀研究賞
2019年：日本口腔科学会 学会賞 など